

第七十六回
帝國議會
貴族院

刑法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和十六年二月十七日(月曜日)午後一時三十八分開會

○委員長(小山松吉君) 是ヨリ開會致シマス、前會ニ引續キ質疑ノアル方ハ御質疑ヲ願ヒマス

○山隈康君 改正本案ノ第九十七條ノ四、ソレノ「公務員其地位ヲ利用シ他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付斡旋ヲ爲シ又ハ爲シタルコトニ關シ賄賂ヲ收受シ」云々ト云フ此ノ規定ト、改正刑法假案ノ第二百一條ニ同様ノ場合ヲ規定シテアリマスガ、一方ノ假案ノ方ニ於キマシテハ、單ニ賄賂ヲ收受シタルノミデハイケナイ、賄賂ヲ要求シテ收受シタルコトヲナスコトニ規定ガ相成ッテ居リマス、即チ職務ニ關シテ賄賂ヲ收受致シマスレバ本案ニ付テハ犯罪ガ成立スルコトニナッテ居リマス、假案ノ方ハ、同一ノ場合ニ於テ賄賂ヲ要求ト云フ條件ト、收受ト云フ條件、二ツノ條件ヲ具備シナケレバ犯罪ガ成立シナイ、無論單ニ要求ヲシタ場合モ同様デアリマスケレドモ、賄賂ノ收受ノ場合ニ於テハ一應要求ト云フコトヲ犯罪構成ノ條件ニシテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ兩方ノ區別、或ハ假案ノ方ヲ此ノ通りデナク、更ニ檢討ヲ加ヘラレマシテ、改正案ト同様ノ趣旨ニスル御趣意デアリマセウカ、一應其ノ點ヲ伺ヒマシテ、更ニ御尋ネフシタイト考ヘテ居リマス

○政府委員(大竹武七郎君) 假案第二百一條ニハ御話ノ通り要求シテト云フコトヲ條件ニ加ヘテ居リマス、處ガ此ノ法案ノ中ニ

ハ之ヲ省イタルデアリマス、省キマシタ理由ハ、實際ノ實情ヲ見テ居リマスト別ニ要求シナイケレドモ、頼ム方カラ提供シテ居ルト云フ實例モアルノデアリマシテ、矢張り要求シタ場合ダケニ限ルノハ、案トシテ狭キニ失スルデアラウ、斯ウ云フ考ノ下ニ此ノ要件ヲ取ツタノデアリマス

○山隈康君 假案ノ方ハ法律調查委員會デ相當民間ノ權威者ヲ集メラレマシテ慎重審議ノ結果、此ノ案ガ一應出來上ツタモノト存ズルノデアリマス、此ノ賄賂ト云フ點ハ、實際問題ト致シマシテハ、社會上ノ儀禮ニ對スル贈答ト、動モ致シマスルト其ノ區別ヲ爲スコトガ非常ニ困難ノ場合ガ往々アル譯デアリマス、是等ノ困難ノ實情ヲ考慮致シマシテ、此ノ殊更ニ要求ト云フ條件ヲ入レタモノト思ハレル譯デアリマス、假案ニ於テハ、只今御示シナリマシタル如ク何等ノ要求ナクシテ物品其ノ他贓應ヲ爲シタ場合ハ、實際ノ法律上ノ賄賂ト稱スベキモノトノ區別ガ非常ニ困難デ、其ノ爲ニ或ハ科罰ガ酷ニ失スルヤウナ傾向ガアル、其ノ點ヲ假案ノ方デハ斟酌サレマシテ、要求ト云フ條件ヲ加ヘラレタモノト思フノデアリマスガ、此ノ假案デ、此ノ要求ト云フ條件ヲ入レルト云フ其ノ當時ノ……政府ノ方モ御參加ニ相成ッテ居ルト思フノデアリマスガ、當時ノ立法ノ趣旨ハ何處ニ存在シテ居ッタノデアリマセウカ、殊更ニ要求ト云フ條件ヲ入レマシタ假案ノ立法ノ趣旨ヲ一應承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(大竹武七郎君) 私ハ實ハ刑法改正調查委員會ノ幹事ヲシテ居リマシテ、其ノ當時ノ經緯ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ實ハ只今御話ノヤウニ賄賂トナルカ、社交的儀禮ノ範圍ニ止マルカトノ區別ガムツカシイカラト云フヨリモ、寧ロ是ハ今迄ナカッタ規定ヲ新タニ入レルノデアアルカラ、大體先ツ此ノ程度ニシテ置イタ方ガ、即チ要求ト云フ要件ヲ加ヘテ置イタ方ガ安當デアラウト云フ説ガ出マシテ、之ニ加ヘラレタノデアリマスケレドモ、委員會ノ内容ヲ此處デ餘リ詳細ニ申述ベルノモ如何カト思ヒマスケレドモ、必ズシモ全會一致デ、ドウシテモ入レナケレバナラスト云フコトデハナイノデアリマシテ、相當之ガナイ方ガ宜イト云フヤウナ意見モアリマシテ、一應斯ウ云フヤウニ入レテ案トシテ決マッタノデアリマスケレドモ、マアサウ云フ次第デアリマシテ、私共考ヘマス、實際ノ實例ガ現ニアリマスモノデスカラ、矢張り此ノ要求ト云フ文字ハナイ方ガ適當デアラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘタ次第デゴザイマス

○山隈康君 本件ニ關シマシテ、委員外ノ權威者ニ於キマシテモ、相當疑問ヲ懷キ、其ノ立法ノ趣旨ノ上ニ於テモ、及ビ其ノ適用ノ上ニ付テモ甚ダ意見ヲ懷イテ居ル人モアルヤウデアリマス、只今政府ノ御説明ニ依リマス、是ハ其ノ當時ハ今迄斯ウ云フ規定ガナイカラ、餘リ規定ヲ嚴格、廣義ニ規定スルト云フコトハ、社會ノ實際ニ即シナイト云フ點カラ要求ト云フ條件ヲ犯罪

構成ノ内ニ加ヘタモノト思フ、併シ今御話ニ依リマスト要求セヌデモ色々金錢物品ヲ提供交付致シマシテ、其ノ間何カ其ノ他ニ色々事實ノ伏在スルト云フ危險ガ多イカラ、結局要求ト云フ條件ガナクシテ、犯罪ヲ成立セシムルコトヲ妥當ナリト云フ御趣意ヨリ外ニハ、別ニ御變ヘニナツタ内容ハナイ譯デアリマス、更ニ是ハ假案デアリマスカラ、將來政府デモ此ノ儘御提出ニナラヌデセウガ、矢張り……只今御説明ノ以外ニハ格段ノ理由ガ別ニアルカナイカト云フ點ダケヲ更ニ御説明ヲ簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大竹武七郎君) 結局只今申上ガタ通りデアリマスガ、實際ノ實情ヲ見マス、要求シタ場合ニ限ラズシテ、要求シナイデモ贈賄者側カラ持ッテ行クト云フ場合ガアリ、ソレハ結局ニ於テ弊害ガアルト云フコトハ、要求シタ場合ト同ジデアルト云フコト、即チ實際上ノ現狀ニ鑑ミト云フ點ガ第一デアリマシテ、御尋ネノヤウナ賄賂ト社交的儀禮トノ範圍ヲ明確ニスルト云フ必要モ全然ナカッタ、サウ云フ理由デヤナイノダト迄申上ゲデ居ル譯デハゴザイマセヌデアリマス

○河原田穠吉君 先日司法大臣カラ御答ノアリマシタ事項ニ付テ若干御尋ネシタイ、先般ノ御答辯ニ依リマシテ、大體政府ノ御考ヲ了承シタルデアリマス、即チ所謂刑法法典ノ立法方針トシテハ、何ト申シマス、大陸主義ト云フノデスカ、大體ニ於テ各種

ノ事犯ヲ刑法典ノ内ニ網羅シテ行クト云フヤウナ主義ヲ採リタイ、之ガ第一ノヤウニ伺ヒマシタ、ソレカラ第二ニハ、此ノ社會ノ變轉、殊ニ此ノ非常時局下ニ於テ、更ニ其ノ犯罪ノ種類、或ハ其ノ刑ノ程度、其ノ他ニ付テ尙十分ニ研究ヲ續ケテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ拜承シタノデアリマス、ソレカラ更ニ第三ニハ、此ノ非常時局下ト雖モ法典ノ整理ト云フコトニ付テハ邁進スル積リデアルト、斯ウ云フ風ニ伺ヒタノデアリマス、大體私モ了承シタノデアリマスガ、其ノ御答辯ニ關シマシテハ私ノ御尋ヲシマシタ事項ガ尙アリマシタ、ソレハ第二ノ、將來此ノ時勢ニ合フヤウナ法規ノ適正ヲ圖ッテ行ク、斯ウ云フコトニ付テハ十分ニ研究ヲ遂ゲテ行クト、斯ウ云フ御答デアリマシタガ、私ハ更ニサウ云フ場合ニハ、如何ナル方法ヲ執ラレルカ、斯ウ云フ御尋ヲシタ譯デアリマス、如何ナル方法ヲ執ラレルカト云フコトハ、少シ言葉ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、私ノ申述ベマスルノハ、サウ云フ風ナ際ニ、簡單ニ言ヘバ、從來ノヤウナ、例ヘバ法制會議トカ、云フヤウナ一種ノマア委員會ト言ヒマスカ、サウ云フモノヲ御作リニナッテ行カレル御積リデアリカ、或ハ司法省即チ役所ダケデオヤリニナル積リデアリカト、斯ウ云フ意味ガアッタノデアリマス、段々考究シテ見マスト、私ハ或ハ一種ノ矢張り委員會ト云フヤウナモノヲ御作リニナッテ、斯ル重大法典ニ付テハ衆智ヲ集メルト言ヒマスカ、サウ云フモノヲ參考ニサレテ立案サレルノガ適當ダハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、其ノ理由ハ、第一ニ私が申ス迄モナク、議會ト云フモノハサウ細カイ所

迄條文ノ内容ニ入り、又字句ノ點ガドウダトカ、刑ノ種類、程度ガ他ト比較シテドウダトカ云フコト迄ヲ短時日ノ間ニ審査スルト云フコトハ、是ハ容易ナラヌコトデアリ、ソレヲ望ムコトハマア無理デヤナイカ、現ニ刑法假案ノ如キモノモ、十八年モ掛ッテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ少シ長過ザルト私ハ思ヒマスガ、從ヒマシテ議會ニ御提案ニナル場合ニ於テモ、豫メソレハマア下拵ヘト言ヒマスカ、下拵ベト言ヒマスカ、サウ云フモノガ出來テ居リマス、大變審議ノ上ニ於テモ便宜デヤナイカ、斯ウ一ツハ思ハレルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ、是ハマア法律ノ問題バカリデナク、一般ノマア、大キク言フト、政治ト言ヒマスカ、サウ云フ觀點カラ考ヘマシテモ、是カラ段々所謂非常時局下ニ於テ廣イ意味ノ統制ナリ、廣イ意味ノ何ト言ヒマスカ、政府ニ種々ナルコトヲ委任シテ行クト、即チ力ヲ以テ此ノ國事ヲ處理シテ行クト云フ責任ト權能ガ益、政府ニハ多クナルノデアリマス、是ハ最モ必要ナコトト思フノデアリマスガ、サウナレバナル程、一方ニ於キマシテ所謂國民ニ十分納得サセラル、斯ウ云フコトガ必要デハナイカ、是ハ外交トカ、經濟トカ云フ機密ノコトハ別問題デアリマスガ、國內問題ニ付テハ、出來ルダケ所謂納得政治ト言ヒマスルカ、愈、統制ガ強クナリ、政府ノ權力ガ強クナルト共ニ、此ノ一億民衆ヲ率キテ行ク上ニハ、成ルベク國民ニ納得サセテ、本當ニ其ノ積リニナルヤウニ率キテ行クコトガ、大キナ廣イ觀點カラ必要デハナイカト斯ウ思フノデアリマス、ソコ大臣ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、刑法法典ダケニ付テ見マシテ

モ、將來刑法法典ト云フモノハ、モウ一ツノ考ノヤウニ、所謂本當ノ基本法規ヲ掲ゲルバカリデナク、所謂犯罪事項ニ付テ廣ク刑法法典ニ掲ゲテ行カウト、斯ウ云フ御方針デアリマスレバ、尙其ノ必要ガアルノデハナイカ、是ハ所謂納得政治ト云フモノデ、十分ニ國民ニ周知納得セシムルバカリデナク、所謂立法ノ際ニ於テモサウ云フ考ヲ持タレルコトガ政府トシテハ必要ナンデヤナイカ、議會ハ固ヨリ豫算、法令ヲ審議シ、之ガ採否ヲ決メテ行クノデアリマスガ、併シ又議會ト云フモノモ亦一方ニ於テ國民ニ對シテ種々ナルコトヲ納得サセル上ニ於テ、一ツノ良イ機關ト思フノデアリマスガ、法案ヲ作ラレル初メニ於テ、何ト言ヒマスカ、矢張り委員會ノヤウナモノニ於テ適當ナ人ヲ集メテ行カレルコトガ、所謂納得政治ノ上ニ於テ便宜デハナカラウカト思ハレルノデアリマス、是ハ決シテ司法省ノ方々ニ對スル所謂不信ノ意味デハナイノデアリマス、是ハ日本ニ於テ法律ニ關スル最モ偉イ權威者ヲ網羅サレテ居ルノデアリマスカラ、國民ハ之ニ對シテ十分ニ信任ヲ拂フコトハ固ヨリデアリマスルケレドモ、併シ是カラ社會上ノ情勢ガ非常ニ千變萬化スルノデアリマシテ、刑法ノ中ニモ經濟法規其ノ他ノモノヲ書イテ行カケレバナラズ、又特別法デモサウ云フコトヲ書イテ行カケレバナラズト云フヤウナ、非常ニ複雑多岐ニナリマスノデアリマスカラ、此ノ際矢張りサウ云フ趣旨ニ於テ立案ニ際シテ民間ノ空氣ヲ測量ナサル、斯ウ云フヤウナコトモ必要デハナイカト思フノデアリマス、政府ノ方針トシテ色々委員會ヲ御整理ナサルコトハ、是ハ最モ結構ダト思フノデアリマス、隨分

今迄ハ形式ダケノ委員會モアリマシタラウシ、唯形ヲ整ヘルダケノ委員會モアリマシタラウガ、併シ刑法トカ、民法トカ商法ト云フヤウナ大法典ニ付テハ、矢張り私ハ一種ノ委員會ノヤウナモノガアルコトガ便宜デモアリ、又所謂國民モ十分納得スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、是等ニ關スル政府ノ御意嚮ハ如何デゴザイマセウカ、念ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 只今ノ御意見ハ、此ノ前申上ゲマシタノニ關聯シテ、斯クノ如キ法ヲ整理シテ行ク上ニ於テ準備ハドシナ方法ニ依ルカ、委員會ハ整理シテシマッタヤウデアアルガ、重要法典ヲ制定スルニ當ッテハ、多方面ノ知識ヲ入レテ研究ヲセナケレバナラヌト思フガ、例ヘバ委員會ノヤウナモノデ研究ヲセナケレバナラヌ要ガアルノデハナイカ、又法ハ成立後國民ニ納得セシムルコトガ極メテ緊要デアアルガ、成立前カラ、即チ立案ニ際シテモ能ク其ノ趣旨ノ在ル所ヲ納得セシムルガ爲ニ、官バカリデハナクシテ、廣ク衆智ヲ集メルヤウニスルコトヲ必要トスルト思フガドウカト、斯ウ云フコトノヤウニ存ジマシタ、誠ニ御尤モノ御意見デゴザイマシテ、根本ノ大法典ノ編纂ハ勿論、特別法ニ於キマシテモ、凡ソ刑罰令ヲシテ能ク世ノ實情ニ適應セシメルコトハ至極必要ト存ジマス、將來是等法令ノ立案ニ當リマシテハ、適當ナル方法ニ依リマシテ世ノ實情並ニ國民ノ要望スル所ヲ調査研究致シマシテ立案ヲシ、之ニ成ルベク其ノ道、其ノ道ノ經驗者、若シクハ權威者ノ參加ヲ御願ヒシテ、妥當適正ナル立法ヲ致シタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○河原田稼吉君 私ノ質問ハ是デ打切りマ
ス

○伯爵二荒芳徳君 既ニ河原田委員カラモ
色々御希望ガアツタノデアリマスガ、私モ此
ノ「安寧秩序」對スル罪ヲ御審議ヲ承リマシ
タ時ニ愚見ヲ述ベテ置キマシタ譯デアリマ
スガ、今日ノ日本ノ情勢ト云フモノハ、將
來非常ナ高速度ニ色々ノ新ラシイ秩序ガ茲
ニ考ヘラレ、同時ニ之ニ對スル舊來ノ觀念
カラ不満足ガ起リテ參リマシテ、社會的ニ申
シマス、色々ナ所ニ所謂沙上ノ偶語ガア
ル譯デアリマス、是ハ一面ニハ社會情勢ノ
變轉ト云フコトカラ來ルト同時ニ、他ノ一
面ノ理由ト致シマシテハ、從來ノ安逸ニ馴
レテ居タ人々ハ、新ラシイ制度ニ對スル多
大ノ不満足有テ居ル、サウ云フ關係カラ非
常ナ故意、惡意ガナイニシテモ、新ラシイ
制度ヲ極端ニ呪詛スルト云フ傾モアルと思
ヒマスシ、又同時ニ其ノ新ラシイ制度ガ、
當局ノ聰明ガ不十分デアッタ爲ニ色々ノ行
違ヒヲ生ジテ居ルト云フ情勢デアルト思フ
ノデアリマス、併シ斯ウ云フ時勢ニ於テハ、
刑法ト云フモノガ其ノ時ノ應ジテ最モ
時勢ニ適應スルヤウニ手早く直シテ行カ
レ、又同時ニ新ラシイ條文ト云フモノガ、
特別法ナリ、或ハ現行法ノ中ノ改正ナリト
シテ出テ來ルコトガ時宜ニ適スルト思フノ
デアリマス、今ノ刑法假案ノ如キ十八年ヲ
要シタト云フヤウナコトハ、一面ニ於キマ
シテハ所謂司法關係ノ御方々ガ慎重審議セ
ラレマシタ結果、却テ時勢カラ、或ハ遅レ
テ居ルモノガ今頃ニハ出來テ居ルノデハナ
イカ、斯ウ考ヘラレルノデアリマス、私嘗
テ西園寺公爵カラ伺フタノデアリマスガ、明
治御一新ノ時分ニハ非常ニ澤山法令ガ出、

所謂朝令暮改ノ弊モアツタケレドモ、又適應
スル爲ニ隨分急速ナ法律ヲ出シタ、サウシ
テ數日經ッテ行違ヒガアツタト云フノ邊
直シタト云フヤウナコトモアルト云フコト
ヲ承ツタノデアリマスガ、私ドウモ今日ノ世
ノ中ニ於テハ非常ニ手早く適應スルヤウナ
法制ヲ公布セラレルコトガ必要ダト考ヘル
ノデアリマス、殊ニ今日一種ノ赤色運動ノ
如キハ何レモ擬裝ヲ致シマシテ、或意味ニ
於テハ其ノ思想ヲ抱持シテ居ル者スラモ、
自覺的ニハ自分ガ赤色思想ト考ヘナイデ、
所謂新シイ制度ニ參加ヲシテ居ルヤウナ實
情デハナイカト存ジマス、殊ニ赤化主義者
ノ戰術ト云フモノハ、多年洗練ヲ加ヘラレ
テ研究サレタモノデアリマスカラ、從來ノ
正統派ノ立法者、或ハ傳習ニ泥ンダ所ノ法
律家ト云フ者ノ下ヲ潛ルコトガ寧ロ彼等ノ
最モ得意トスル所ダト思フノデアリマス、
ダカラ之ニ對スル戰術ハ同ジヤウニ政府ノ
當局ニ立ツ者ガ彼等ノ戰術ヨリモモット優
レタ戰術、モット研究サレタモノヲ持ツト
同時ニ、所謂果斷ナル處置ヲ講ズルト云フ
コトガ必要ダト思フノデアリマス、私社會
事業並ニ社會教育ニ關係致シテ居リマシテ、
此ノ赤化主義者ノ所謂底流工作ト言ヒマス
カ、流レノ底ヲ潛ッテ行ク工作ヲ隨時知ル
機會ヲ得マシテ、實ニ寒心ニ堪ヘナイ點ガ
アルノデアリマス、從ヒマシテ、私ノ愚見
ト致シマシテハ、ドウゾ刑法ノ改正ノ如キ
モ此ノ思想方面ニ非常ナ重點ヲ御置キ戴イ
テ、サウシテ最モ果斷ナ時宜ニ適スル御處
置ヲ御誤リニナラヌコトヲ切望シテ已マナ
イ譯デアリマス、一言所見ダケ述ベテ置ク
次第デアリマス

○國務大臣(柳川平助君) 只今二荒伯ノ御
意見ハ今日ノ如ク時代ノ急速ナル變轉ニ應
ジ、殊ニ思想的ニハ一種ノ赤色運動ガ底流
的ニ行ハレテ、其ノ擬裝ニ蔽レテ其ノ中ニ
アル本人デサハ自覺セザルヤウノ狀況デ、之
ニ對シテハ彼等ノ戰術ガ非常ニ進ンデ巧ミデ
アルノデアルカラシテ、之ニ對シテハ其ノ技
倆ハ彼等ヨリ優レタル技術ト同時ニ、非常ナ
ル果斷ヲ要スル、仍テ刑法ノ刑罰等ニ對シ
テモ時勢ニ適應スル如ク機宜ニ適シテ修正
ノ時機ヲ誤ラスコトガ必要デアルト云フ御
意見デアルト思ヒマス、誠ニ御尤モノ御意
見デゴザイマシテ、此ノ研究ヲシテ居ル間
ニ時勢ガドン／＼進ンデ參リマスノデ、一
方ニ於テ時勢ニ遅レナイヤウニ出來レバ其
ノ先ヲ探ッテ、法制ノ上ニモ時機ヲ失セナイヤ
ウニスルコトガ必要デアラウト思ヒマス、
重要法典デゴザイマスカラ、本法典ノ改正
ヲ慎重ニスル爲ニ時機ヲ失スルヤウナ場合
ニハ致シ方ゴザイマセスカラ、特別法ニ依ッ
テデモ時機ヲ失セナイコトニ努メタイト思
ヒマス、唯餘リニ朝令暮改ノ弊ニ陥ルコト
ダケハドウシテモ戒メナケレバナラスト思
ヒマスガ、場合ニ依ッテハ、時代次第デハ、
例ニモ御引キニナリマシタ通りニ急速ナ改
正ヲ豫期シテモ或立法ヲシナケレバナラス
場合モ覺悟シテ、十分ニ時機ヲ失シナイヤウ
ニ努メタイト考ヘテ居リマス、本議會ニモ
只今衆議院カラ送付サレタ國防保安法案ヲ
御審議願ッテ居リマスガ、モウ一ツ衆議院ノ
委員會デ只今治安維持法案ノ改正法案ヲ御
願ヒ致シテ居リマシテ、只今ノ所此ノ兩法
案ガ通過致シマシテ、實施致シマスレバ、
只今伯爵ノ御述ベニナリマシタヤウナ思想
方面ニ辛ウジテ遅レズニ行ケルカト存ジテ
居リマスガ、御意見ノ通りニソレカラソレ

ニ變轉ヲシテ行キヨル今日ノ時勢デアリマ
ス、能ク行政方面、教育、教化ノ方面トモ
聯繫致シマシテ、豫防並ニ制裁ニ遺憾ナキ
ヲ期シタイト存ジテ居リマスヤウナ次第デ
ゴザイマス

○山隈康君 政府委員ニ先刻御尋ネ致シマ
シタ百九十七條ノ四ニ對シテモウ一遍伺ヒ
タイト思ヒマス、百九十七條ノ場合ハ公務
員、仲裁人ガ自己ノ職務ニ關シテ賄賂ヲ取ッ
タ場合、若クハ要求ヲ爲シタル場合、百九
十七條ノ四ハ自分ノ職務ニ關シタコトデナ
クシテ、單ニ其ノ地位ヲ利用シテ他ノ方面
ノ人ニ對スル事項ニ付テ賄賂ヲ爲シ、公務
員ガ本來ノ職務ニ關シテ賄賂ヲ收受若クハ
要求ヲシタト云フコトハ、公務員タル責任
ノ上カラ致シマシテモ、實害ノ上カラ致シ
マシテモ、其ノ職務以外ノ公務員ガ地位ヲ
利用シタリ社會ニ對スル法域ヲ害スルト云
フコトハ大キイト思フノデアリマス、殊ニ
先刻政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、刑
法改正ノ假案ニ於テ申込、即チ要求ト云フ
條件ヲ付シタノハ、斯ウ云フ種ノ犯罪ハ初
メテデアアルカラ要求ト云フ條件ヲ付シタ方
ガ至當デアルト云フヤウナコトデ、要求ト
云フ言葉ヲ犯罪ノ條件ニ插入シタト云フ御
話ガアリマシタ、ソレヲ點カラ致シマス
ルト、百九十七條ト百九十七條ノ四ノ其ノ地
位ヲ利用シタ者ト同一ノ刑期ト云フコトハ
稍、權衡ヲ失スルヤウナ感ジガ致スノデアリ
マス、現ニソコ迄モ罰セヌデモ宜イデヤナ
イカ、即チ歴史的ニ言ヘバ刑法改正ノ假案
ノ際ニハ處罰ヲセヌデモ宜クハナイカト云
フコトデ、假案ガ出來タ、其ノ歴史カラ考
ヘマシテモ、亦自己ノ當面ノ職責ニ關シテ
賄賂ノ收受ヲシ、若クハ要求ヲスル場合ト、

自分ノ職責ニ非ザル場合トノ間ニ刑罰が同様に云フノハ稍、權衡ヲ失スルヤウナ感ジガ致シマス、之ニ對シテ一言伺ヒマス

○政府委員(大竹武七郎君) 第九十七條ノ四ノ場合ハ公務員自身が自分ノ職務ニ關シテ不正ナコトヲシテ譯デナイコトハ御説ノ通りデアリマスガ、其ノ地位ヲ利用シテヤルト云フコトニナツテ居リマスノデ、矢張り相當重要ナ犯罪ト考ヘラレルノデアリマス、又此ノ中ニハ請託ヲ受ケタ場合ト然ラザル場合トガ書キ分ケズニ兩方一緒ニ入ッテ居ル、刑ノ點ナシカモサウ云フコトモ考ヘ併セマシテ、斯様ナコトニナツテ居ル次第デアリマス

○山隈康君 百九十七條ノ四ニ請託ト云フコトノ規定ガナイノハ、恐ラク自分ノ職務ニ關シタコトデナイカラ、相談ヲ受ケルト受ケナイトニ依ッテ、一向罪責ニ區別ガナイト云フ趣旨カラ、此ノ百九十七條ノ四ニハ請託ト云フコトノ字句ガナイモノト思フノデアリマス、只今ノ御説明デハ請託ト云フコトモ含ムカラ、同一ノ刑罰ノ規定ヲ設ケタト云フコトハ、是ハ諒解ニ苦シムヤウデアリマス、若シ此ノ場合デモ矢張り請託ト云フコトガ何カ一ツノ犯罪ト見得ラル、ナラバ、更ニ百九十七條ト同様ニ請託ヲ受ケタ場合ハモウ少シ刑ヲ加重スルノ必要アリト思フ譯デアリマス、ソレヲ加重シナイト云フコトハ自分ノ職務デナクシテ、唯其ノ地位ヲ利用シテ周旋、斡旋ヲスルノデアリマスカラ、頼マレヨウガ頼マレマイガ、社會ニ殘ス罪害ニ付テハ法域ヲ害スルカ、何トカ云フ意味デハナカッタノデアリマセウカ、第百九十七條ノ四ニ請託ト云フ文字ガナイノハサウ云フ意味デヤアリマセウカ

○政府委員(大竹武七郎君) 公務員ガ他人カラ頼マレテ斡旋ヲスル場合ト、頼マレズシテ斡旋ヲシテヤル、其ノコトニ關シテ收受スルト云フヤウナコトモ、二ツ共含マレテ居ルト考ヘテ居リマス、此ノ規定ハ先程申上ゲマシタ通りニ、現在迄ハ處罰ノ規定ガナカッタモノヲ、新タニ設ケタ次第デアリマスカラ、從來アツタ規定ヲ請託ヲ受ケタ場合トナイ場合トニ書キ分ケテ、其ノ間ニ刑ノ輕重迄設ケルト云フヤウナコト迄シナクテモ、大體一括シテ斯様ナ立法形式ヲ取ルコトニ依ッテ賄ヒ切レル、斯ウ云フヤウニ考ヘタ次第デアリマス

○山隈康君 少シク意見ニ互ルヤウデ、甚ダ恐縮デアリマスルガ、從來斯ウ云フ規定ガナクテモ、現在ニ於テ之ヲ處罰スルノ必要アリト認メテ法律ヲ御制定ニナツタナラバ、從來ニナカッタト云フコトヲ斟酌致シマシテ、一方ニハ請託ノ有無ニ依ッテ刑ニ輕重ヲ付シ、一方ニハ其ノ請託迄モ併セテ同一ノ刑期ノ下ニ包含セシメタト云フコトハ、何ダカ斯ウ沿革カラ來タ事由シテハ了承シ兼ねル點ガアリマスノデ、マア是ハ意見ニ屬シマスコトデアリマスガ、一應御説明ガアレバ更ニ承ッテ置キタイと思ヒマス、意見ノ相違ト云フコトニ歸著スルカモ知レヌト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(大竹武七郎君) 多少繰返ス御答ヘニナツテ恐縮デゴザイマスガ、沿革モアリマスシ、ソレカラ自分ノ直接ノ職務ニ關シナイト云フコト、又初メテ設ケル規定デアルト云フヤウナ、色々ナ點ヲ考ヘ併セマシテ、大體先ヅ此ノ程度デ行クノガ適當デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デアリマス

○河原田稔吉君 チョット今ノ山隈委員ノ御質問ニ關聯シテ伺ヒマスガ、其ノ地位ヲ利用スルト云フノハドウ意味ニナルノデアリマスカ、今御尋ネノ趣旨ハ詰リ客觀的ニ地位ヲ利用シタト認メラレベキ事實ガアレバ宜イノカ、自分ガ言ヘバ何ダカ向フニ影響ヲ與ヘ、權威ヲ有ツト云フ主觀ガ必要ナノカ、ト言フノハ其ノ主觀ガ必要ダト云フコトニナレバ、ソレデ意味ハ分リマスガ、若シ客觀的ナ事實ダケガアリ……結果ニ於テ彼ハ客觀的ニ見テ、アノ人ノ言フコトナラバドウモ影響ガアルト云フ客觀的認定ニ依ルトスレバ、或ハソコニ本當ニ深切ニ斡旋ヲシタ場合モ、自分ガ利用スル意思ガナクテ、本當ニ深切ニ、是ハ世ノ中ノ爲ダ、或ハ人情カラ言ヘバ人ノ爲ダト云フ所カラ、自分ガ利用スル意思ガナク、本當ニ斡旋シタト云フ場合迄入ルト、是ハ可ナリアレニナルノデスカ、ソレガ入ルノデスカ、入ラナイノデスカ

○政府委員(大竹武七郎君) 犯罪ノ意思、犯意ト致シマシテハ、地位ヲ利用スルト云フ主觀的要件ガ必要デアリマス、併シナガラ或地位ト或地位トノ關係ト云フ客觀的事實ヲ證據ノ一ツトシテ、他ノ證據ノ一ツト合セテ主觀的ナ點ヲ認定スルト云フ場合モアルカト考ヘマス

○委員長(小山松吉君) 別ニ他ニ御質疑ゴザイマセウカ

○子爵高木正得君 政府委員デ結構デアリマスガ、此ノ改正案ノ第百五條ノ三、四ニ「戰時、天災其ノ他ノ事變ニ際シ」ト云フ言葉ガ出テ居リマス、確カ第二回カノ時ニ、此ノ定義ニ付テ御質疑ガアリマシタ、其ノ時政府委員ノ御説明デハ非常ニ廣義ニ解釋シ、例ヘバ關東

震災ノ折ナシカモ含ム、斯ウ云フヤウナ御説明デゴザイマシタガ、事變ト云フモノハ元來何ダカ我々ノ耳ニハ戰爭ニ準ズルモノトシテノ取扱ガアル、ハッキリ私モ存ジマセマスガ、勅令カ其ノ他ノコトデ、例ヘバ今度ノ日支事變ニ致シマシテモ確カ御達シガアツタヤウニ感ズルノデアリマスガ、廣イ意味ニナルト何ダカ事件ト云フノト同ジヤウナ氣ガスルノデスカ、其ノ邊ハ如何デスカ

○政府委員(大竹武七郎君) 此ノ前私ガ申上ゲマシタノハ、戰時、天災其ノ他ノ事變ト云フコトニナツテ居リマシテ、天災ト云フモノ迄入レテ居ル關係上、戰爭ニ準ズル事變ノ場合ヨリモ廣クナリマセウ、斯ウ云フ趣旨デ申上ゲタ次第デゴザイマス、現在ノ支那事變ハ、確カ私ノ記憶デハ、アレハ閣議決定デ事變ト稱スルト云フコトニナリ、ソレカラソレガ昭和十二年ノ立法ノ上ニモ事變、事變ト云フ言葉ヲ用ヒテ來タヤウニ考ヘテ居リマス、現在ノ支那事變ガ實質上戰時デアルカ、又茲ニアル事變ニ當ルカト云フコトハ相當ニハ議論ノ餘地ガアリマセウ、又政治的ニ考ヘタ場合ト、多少ソコニ結論ガ違フカモ知レマセウガ、即チ政治的、外交的ニハ戰爭ト云ッテハ工合ガ惡イケレドモ、實質ハ戰爭ダト云フヤウナ場合モアリマセウ、少クモ戰時、事變ノ中ノ何レカニハ入ルコトハ間違ナイと思ヒマス、關東ノ大震災ノ場合ニ於キマシテハ、アレハ天災ト云フコトニ當ルカト考ヘテ居リマス

○子爵高木正得君 モウ一ツ政府委員ニ御尋ネシタイコトハ、先般來此ノ委員會會デ問題ニナツテ居リマス大政翼賛會ノ問題デゴザイマスガ、御承知ノ通り今度出マシタ追加豫算ニハ八百萬圓ト云フモノガ計上サレ

テ居リマス、之ガ通りマスカ通りマセスカ知レマセスガ、若シ通ツタトシタ曉ニハ補助金トシテ出ル譯ナシマスガ、サウ云フ時ニ、之ガ法人デナイカラ云々ト云フ御説明ヲ承リマシタガ、ドウモ將來司法省トシテ何等カソコニ制裁ヲ御考ニナラナケレバナラスヤウナ氣ガ致スノデアリマスガ、其ノ邊少シ諄クナリマスガ、御返答願ヒタイ

○政府委員(大竹武七郎君) 其ノ根本問題ニナルト、ドウモ私が御答シテ宜イカドウカチヨット考ヘマスケレドモ、私が先般申上ゲマシタノハ、現在ノ大政翼賛會ハ、法令ニ基イテ設ケラレタモノデハアリマセス、從テ刑法第七條ノ所謂法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト云フ中ニ當リマセヌカラ、公務員ト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、斯ウ云フ風ニ御答ヘ申上ゲタ次第デアリマス

○委員長(小山松吉君) 他ニ御質問ガナケレバ……

○竹下豐次君 チョット……大政翼賛會ノ役員ニ對スル刑罰ノ法規ニ付キマシテハ、私が御尋ネラ致シタノデアリマスガ、只今政府委員ノ御話ノアリマシタヤウニ、法令ニ依リ團體デナイカラ、刑法ノ第七條ノ公務員ノ中ニハ入ラナイ、罰則ハ適用シナイ、斯ウ云フヤウナ御話ガアツタノデアリマス、併シソレハ私ノ御尋シタノト見當ガ違フテ居タ御答デアリマシテ、私ハサウ云フ必要ガナイカドウカ、サウ云フ法規ヲ御作リニナルカドウカト云フコトヲ御尋ネラシタ、ソレニ對シテ大臣ハ現在ノ法規ニハ適用ガナイ、只今ノ所ソレヲ適用スル規定ヲ設ケル考ハナイト云フヤウナ意味ノ御答ガアツタヤウニ思ヒマス、只今ノ所ト云フ御言葉ハナカッタカモ知レマセス、サ

ウ云フ風ニ承ツテ居ルノデアリマス、實ハ私ガ斯様ナコトヲ申上ゲマシタ私ノ氣持ト云フモノヲ一應述べル必要ガアルカト思フテ居リマスガ、私ハ大政翼賛會ト云フモノハ、色々世間ノ批評、非難モ一部ニハアルヤウデアリマスガ、併シ現在ノ政治情勢ガ必ズシモ完全デナイト云フヤウナ風ノ認識ヲ廣ク國民一般ガ持ツテ居テ、是デヤ困ルカラ何トカシナケレバナラナイト云フヤウナ情勢ニ、謂ハバ自然ニ生レタヤウナモノデヤナイカ、サウ云フ風ナ自然ニ出來タモノデアルトスルナラバ、之ヲ何トカシテ盛リ上ゲテ行ク、正シイモノニシテ行ク、非難ノ少ナイモノニシナケレバナラナイト云フヤウニ、國民一般ガ考ヘルベキ筋合ノモノデヤナイカ、色々ナ「デマ」ナゾモ飛ンデ居リマスガ、サウ云フ「デマ」モ飛バナイヤウニ此ノ組織モ改メ、其ノ外色々ナコトヲ研究シナケレバナラス、サウスルト云フト、矢張りマア總理ノ言ハレルヤウニ、此ノ後組織ヲ改正ハスルガ、今日迄ノ精勵ミタヤウナモノデナクシテ、強度ノ政治性ヲ持タセルモノニシタイト云フヤウナ御考カラ見マスト云フト、強度ノ政治性ヲ持タセル爲ニハ矢張り力ヲ相當ニ持タセルト云フコトト實質ガ一致スルンデヤナイカ、力ヲ持チ、サウシテ其ノ執ル仕事ノ範圍ガ非常ニ廣イコトニナルト、公務員ト比ベマシテドチラガ重イカト云フコトハ輕々ニ判斷スル譯ニ行カナイ、サウ考ヘマス矢張り公務員ト同ジヤウナ責任ヲ負ハセル法規ヲ御作リニナル方ガ大政翼賛會ヲ今後盛リ立テ、世間ノ信用ヲ増スト云フヤウナ意味ニ於テ非常ニ必要ナコトデヤナイカ、決シテ大政翼賛會ノ役員ガドウダトカ、斯ウダトカ個別的

ナコトヲ考ヘマシテ、其ノ人達ニ或ハ憎ミヲ持ツテ、或ハ不信用ナ氣持サウ云フ御尋ネラシタノデヤナイノデアリマシテ、サウ云フ風ニナスツタ方ガ翼賛會ノ此ノ後ノ發展ノ爲ニ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ御尋ネラシタノデゴザイマス、併シ其ノ後モ色々考ヘテ見マシタノデアリマスガ、現在マダ改組ノ程度ガドウノ程度ニ改組セラレルカ、言ヒ換ヘレバドウノ位ノ力ヲ持タセル團體ニスルカ、ト云フ具體的ノ案ガ出來テ居リマセヌ今日ニ於キマシテ、公務員ト同ジヤウナ法律ヲ作ツテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲルノガ、少シ無理カトモ思フデ居リマス、其ノ點ハ其ノ後私ハ少シ考ヘタノデアリマスガ、併シ急速ニ此ノ組織ノ問題ニ付キマシテハ御考ヘニナリ、御決行ニナルコトト思フデ居リマス、若シ其ノ際ニ相當強イ政治性ヲ持タセルト云フコトニ御決メニナルヤウナコトデアリマシタナラバ、私ノ今申上ゲル氣持ヲ御酌ミ下サイマシテ、何等カノ法ヲ制定シテ戴クコトガ望マシイト思フデ居ルノデアリマス、是ハ希望デアリマス

○國務大臣(柳川平助君) 翼賛會會員ニ對スル取締ニ付テ、只今ノ所公務員トシテノ法規ヲ制定スル考ハアリマセヌト云フコトヲ、此ノ前御答ヘ致シテ置キマシタガ、只今御述ベニナリマシタ通りニ、只今翼賛會モ改組等ノコトモゴザイマスノデ、愈、決リマスレバ、公務員トスルカドウカハ別トシテ、如何ナル團體ニ致シマシテモ、非違ガアツテハナラスノデアリマスカラ、只今ノ所ハ公事結社、政事結社トシナイデ公事結社トシテ、其ノ法制ノ内容ニ付キマシテハ、個々ノ人ニ對スル取締ハ一般ノ取締デゴザイマ

シテ、ソレガ或ハ團體トシ、若シハ個人トシテ政治上ニ互リマスレバ、政治上ノ取締ヲ受ケルコトハ當然デアルト云フコトハ、過般內務大臣モ御答ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ程度ニ致シマシテ、成ルベク急速ニ翼賛會ノ方向ヲ決メラレルヤウニ致シマシテ、ソレニ應ジテ若シ必要ガアレバ、何等カノ方法ヲ講ゼネバナラスト考ヘテ居リマス、只今ノ所デハマダ決リマセヌノデ、チヨット具體的ノコトヲ申上ゲ兼ネマス

○委員長(小山松吉君) 別ニ御質問ガナケレバ質疑ヲ終結シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(小山松吉君) ソレデハ御異議ナキモノト認メマス、質疑ヲ終リマシテ直チニ討論ニ移リマス

○河原田稼吉君 私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、數回御熱心ナル委員會ノ御討議ニ依リマシテ、ヤカマシク言ヘバ或ハ不備ナ點モアリ、或ハ又刑ノ範圍、程度等ニ付キマシテ尙ソレ「理想的」ニ言ヘバ意見モ多々アラウト思フノデアリマス、殊ニ今回ハ刑法改正假案ト云フ大キナモノカラ拔出シテ來ラレタコトデアリマシテ、從ヒマシテ果シテ外ノ法規トノ權衡、或ハ其ノ他ニ付キマシテモ、論議ノ餘地ハソレ「アラウト」思ヒマスルガ、併シ此ノ提案ノ理由ニアリマスルヤウニ、現下非常時局ニ對シテ是ダケノモノガ必要デアル、斯ウ云フ御意見デアリ、私モ少クトモ是ダケノ規定ヲ急ニ設ケルコトハ必要ト存ジマスルノデ、私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、唯只今迄ノ委員會ノ經過又氣持等十分政府當局ニ於テモ頭ニ御入レ下サイマシテ、先程司法大臣カラ御懇切ナル御考ヘ方ノ御發表デア

シテ、ソレガ或ハ團體トシ、若シハ個人トシテ政治上ニ互リマスレバ、政治上ノ取締ヲ受ケルコトハ當然デアルト云フコトハ、過般內務大臣モ御答ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ程度ニ致シマシテ、成ルベク急速ニ翼賛會ノ方向ヲ決メラレルヤウニ致シマシテ、ソレニ應ジテ若シ必要ガアレバ、何等カノ方法ヲ講ゼネバナラスト考ヘテ居リマス、只今ノ所デハマダ決リマセヌノデ、チヨット具體的ノコトヲ申上ゲ兼ネマス

○委員長(小山松吉君) 別ニ御質問ガナケレバ質疑ヲ終結シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(小山松吉君) ソレデハ御異議ナキモノト認メマス、質疑ヲ終リマシテ直チニ討論ニ移リマス

○河原田稼吉君 私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、數回御熱心ナル委員會ノ御討議ニ依リマシテ、ヤカマシク言ヘバ或ハ不備ナ點モアリ、或ハ又刑ノ範圍、程度等ニ付キマシテ尙ソレ「理想的」ニ言ヘバ意見モ多々アラウト思フノデアリマス、殊ニ今回ハ刑法改正假案ト云フ大キナモノカラ拔出シテ來ラレタコトデアリマシテ、從ヒマシテ果シテ外ノ法規トノ權衡、或ハ其ノ他ニ付キマシテモ、論議ノ餘地ハソレ「アラウト」思ヒマスルガ、併シ此ノ提案ノ理由ニアリマスルヤウニ、現下非常時局ニ對シテ是ダケノモノガ必要デアル、斯ウ云フ御意見デアリ、私モ少クトモ是ダケノ規定ヲ急ニ設ケルコトハ必要ト存ジマスルノデ、私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、唯只今迄ノ委員會ノ經過又氣持等十分政府當局ニ於テモ頭ニ御入レ下サイマシテ、先程司法大臣カラ御懇切ナル御考ヘ方ノ御發表デア

リマシタガ、ドウゾサウ云フ風ニ御進行ヲ願ヒマシテ、サウシテ更ニ刑事法規ノ調整、是ハ必ズシモヤカマシクスルト云フ意味デアリマセヌ、寛嚴其ノ宜シキヲ得テ社會ノ實情ニ合フヤウニ進行ヲ願ヒタイト思フ、今回ノ改正ノ重要點ハ第七章ノ二、安寧秩序ニ對スル罪、瀆職事犯ニ付テ之ヲ重ク、又其ノ範圍ヲ廣メタト云フ所ニアルヤウニ思ヒマス、何レモ現下必要ナコトト思ヒマスガ、官吏其ノ他公務員ノ瀆職問題ニ付キマシテハ、是ハ單ニ法ヲ以テ追究スルト云フバカリデナク、是ハ御如才モナイコトデ、私ガ言フ迄モナイコトト思ヒマスガ、政府トシテハ官吏ノ自肅自戒ト云フコトニ十分御氣ヲ付ケラレ、又御黨陶ナサレテ法ノ適用ナクシテ十分ニ其ノ目的ヲ達セラレルヤウニ御指導アラムコトヲ附加ヘテ希望シテ置キマス、私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス

○委員長(小山松吉君) 外ニ御意見ゴザイマセスカ、ソレデハ本案全部ヲ可決スルコトニ付テ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(小山松吉君) ソレデハ可決致シマス、是デ散會致シマス

午後二時三十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 小山 松吉君
副委員長 子爵高木 正得君
委員

公爵鷹司 信輔君
侯爵大炊御門經輝君
伯爵二荒 芳徳君
子爵野村 益三君
木場 貞長君

國務大臣
政府委員

司法大臣 柳川 平助君
司法書記官 大竹武七郎君

織田 萬君
中川 健藏君
河原田稼吉君
男爵松平外與麿君
男爵渡邊 修二君
男爵村田 保定君
竹下 豐次君
山隈 康君